

あとかき

〈編集顧問〉

徹世聰夫三至
泉田川訪井江
和太小諏永堀

〈編集委員〉

成 一郎 修 志 一 晃
室 浩 本 篤 恵 理
小 異 橋 平 福 三

〈編集協力委員〉

赤石 誠
大江 元樹
北風 政史
小山 信一郎
中沢 潔

(五十音順)

リンパ脈管筋腫症(LAM)という難病に立ち向かい、新薬として「シロリムス」を保険収載までもっていった一研究者の医師人生をかけた戦いの物語が、本特集号の中の「難病新薬開発の険しい道—医療を蝕む市場原理主義の対立軸を目指して」である。中田光教授は、稀少性呼吸器疾患であるLAM、肺胞蛋白症の病因解明、新規治療法の開発に多大な尽力をしてこられた。特集の中に記載されているが、一人でこの偉業をなしたわけではなく、井上義一、瀬山邦明、林田美江というエネルギー溢れる同士がおり、ここまで到達しえた。孤発性LAMは、体細胞遺伝子変異(*TSC2* 遺伝子異常)がその病因となり発症、mTOR 阻害薬が血管筋脂肪腫そしてLAMに有効であることが報告されている。しかし、LAMはその病状の進行には個体差が大きく、どの時期にどのような治療を選択していくかはまだ解決されていない。新薬で常の問題になるのは、「益と不利益のバランス」である。2015年秋の時点で、幸いシロリムスでは大きな有害事象は稀のようである。(巽 浩一郎)

(巽 浩一郎)

CAST 試験 (Cincinnati Angiomyolipoma Sirolimus Trial. Bissler JJ, et al. *N Engl J Med* 2008; 358: 140-151)

→ mTOR 阻害薬のシロリムスが注目される。コントロール群なし。

MILES 試験 (Multicenter International LAM Efficacy of Sirolimus. McCormack FX, et al. *N Engl J Med* 2011; 364: 1595-1606)

→ シロリムスの内服期間は1年、一秒量絶対値の低下を有意に抑制、FVC・VEGF-D値・自覚症状の改善。シロリムスを中断すると呼吸機能は再び低下。

MLSTS 試験 (Multicenter Lymphangi leiomyomatosis Sirolimus Trial For Safety)

→ シロリムス2年間の継続内服による安全性の確認、最も多かった有害事象は胃腸障害であり、その半数は口内炎、次が感冒(鼻咽頭炎)、それ以外に皮膚障害としてざ瘡・ざ瘡様皮症、生理不順が MILES 試験で認められなかった有害事象としてあり

呼吸と循環(第63巻 第12号)

2015 年 12 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

定価：本体 2,700 円＋税

2015 年年間購読料(送料弊社負担)

冊子版 30,960 円 + 税	冊子 + 電子版/個人 35,960 円 + 税
	冊子 + 電子版/共有 40,580 円 + 税
電子版/個人 30,960 円 + 税	電子版/共有 35,580 円 + 税

E-mail : kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

發行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(相当：吉富・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY**® 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@icodv.or.jp)の許諾を得てください。

*「呼吸と循環」は、株式会社医学書院の登録商標です。